

平成22年2月17日

ユニチカ株式会社

フィルム価格改定について

ユニチカ株式会社は、ナイロンフィルム、ポリエステルフィルムについて価格改定することを決定しました。

世界経済は、2008年秋の金融危機を契機に同時不況の様相を呈しましたが、各国政府による景気刺激策と各企業の合理化により、2008年終盤には最悪期を脱し、2009年から穏やかな回復局面に入っています。特に新興国の活力と成長が先導する形で回復し、その中でも中国・東南アジアは著しく、その影響で原料価格は高騰し、今後さらに上昇が見込まれます。また、国内化学メーカーの事業の選択と集中や統廃合が進んだことにより、合繊原料価格は一層高値圏で推移しております。

このような環境下、当社も様々な合理化策を進めて参りましたが、原料価格の高騰は自助努力によるコスト削減の範囲を超えるものであり、また昨年夏から価格改定依頼を継続しておりますが、事業収益の悪化に歯止めがかからない状況であります。そこで改めて価格改定を実施いたします。

記

1. 値上げ幅

エンブレム (ナイロンフィルム)	15 μ 換算)	600円/連
エンブロン (複層ナイロンバリアフィルム)	15 μ 換算)	600円/連
エンブレット (ポリエステルフィルム)	12 μ 換算)	300円/連
セービックス (ナイロンフィルムベース)	15 μ 換算)	600円/連
セービックス (ポリエステルフィルムベース)	12 μ 換算)	300円/連
セービックス (ポリプロピレンフィルムベース)	20 μ 換算)	500円/連

2. 実施日

平成22年3月1日出荷分より

以上